



## 天災は忘れたところにやってくる

副校長 藤村 和人

「天災は忘れたところにやってくる」は、明治～昭和の科学者・寺田寅彦の言葉です。「自然災害は、その被害を忘れたときに再び起こるものだ。」という戒めの言葉です。

寺田博士は科学者ですが、優れた文筆家としても知られています。（「茶わんの湯」などが有名です。子供向け科学読み物の先駆けかもしれません。）関東大震災を東京で経験し、その後、防災に関する著作を多く世に出しました。今年は「関東大震災から100周年」ということで、博士の話題とともに、防災への意識も高まりそうです。

桜井小学校では、年間7～8回、「避難訓練」を行っています。想定は地震、火災とさまざまですが、1回15～20分程度ですが、続けることに意味があると考えています。

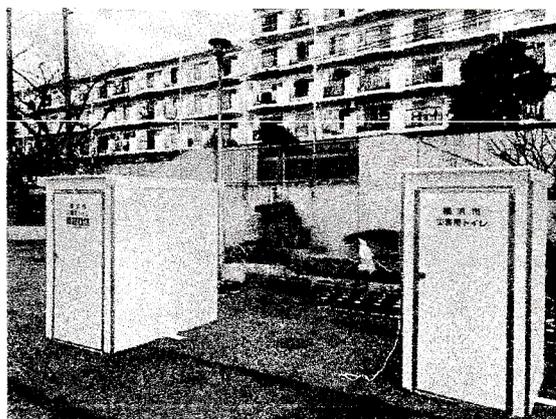
1月も避難訓練があったのですが、今年度最後の訓練ということで、「予告なし」に、「普段やらない時間」に行いました。これまでの成果が問われるわけなのですが、予想通り、子どもたちは上手に避難することができました。

時間は朝8時45分。教室では朝の会が終わって、1時間目が始まるタイミングです。担任と一緒に教室にいた子どもたちはもちろんのこと、教室の外にいた子たちも近場にあるスペースに身を隠し、自分の判断で避難することができたそうです。今後も、「自分の命は自分で守る」ことを基本に、安全教育に取り組んでいきたいと思えます。

また、1月21日（土）には、「地域防災拠点訓練」が行われました。桜井小学校は「地域防災拠点」に指定されており、「一時的な避難」をするために、体育館などの施設を開放することになっています。

今回は、避難所に設置するトイレ（「はまっこトイレ」と言います。桜井小学校では、ペンギン池の前に5基並びます。）の設置訓練を行いました。資源循環局や環境創造局の方の指導のもと、トイレの組み立てや水の誘導を行いました。こちら、「地域の命は地域で守る」考え方と言えます。

日本は地震の多い国です。自然災害とうまく付き合っていくような、しなやかな考え方を子どもたちに育てていきたいと思えます。

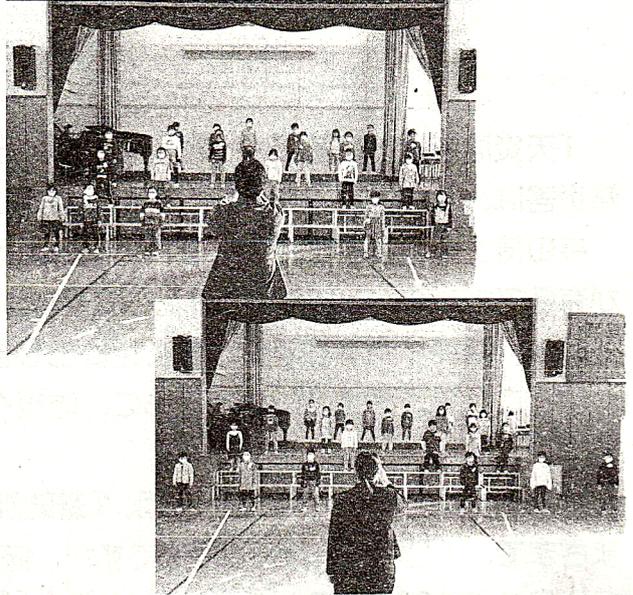


## 12, 1月 桜井っ子 NEWS

1年 音楽朝会 12/19, 20

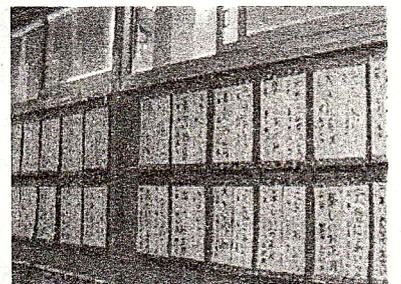
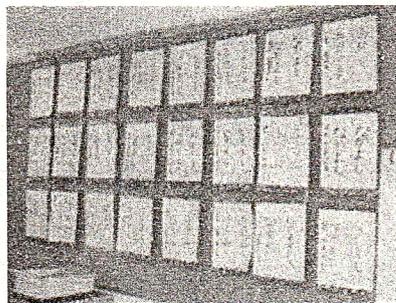
音楽朝会の練習が始まると、「いろいろな楽器を弾きたい!」「サンタさんがやってきたみたいだね!」など、楽しんで演奏したり、歌ったりしていました。日を迫うごとに発表することが楽しみになり、本番に向けて意欲が高まっていく様子が見られました。

撮影当日は、1・2組互いの演奏や斉唱を見て、それぞれのクラスの良さを感じていました。また、全校児童からよせられたたくさんの感想を読みながら、「がんばってよかった。」と満足感を得ていました。



## 校内書き初め展

新しい年が始まり、各学年で書き初めをしました。3～6年生は、学年ごとに体育館で書きました。一人ひとりが、一文字一文字に思いを込めて書きました。各教室の廊下にずらりと並んだ作品には、伸び伸びとした子どもらしさが表現されています。



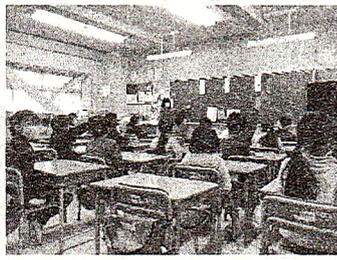
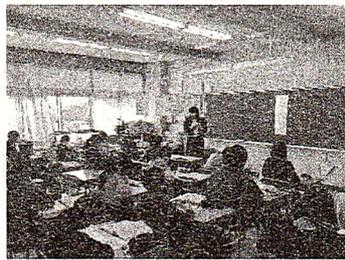
## 3年 お出かけ防災教室 1/23

社会の消防の学習に関連した防災教室。今年は久しぶりに煙体験を行いました。子どもたちは煙で周りが見えなくなり、低い姿勢で移動していました。教室では、火事や救急のときの連絡の仕方を練習したり、消防士の実際の装備や着装の様子などを見たりしました。



## 授業参観 1/17, 19, 24

地域で時間帯をわけない授業参観が、3年3か月ぶりに、実施されました。子どもたちも、緊張感の中で、とてもうれしそうでした。多数の保護者の方に参観していただき、ありがとうございました。



## 4年 はまぎんこども宇宙科学館見学 1/24

理科の月や星の学習のまとめとして、プラネタリウムを見たり、様々な体験をする中で科学の不思議について考えたりと学びの多い一日となりました。初めてみんなで電車に乗り公共のマナーについても学びました。

